ひまわり日記

№１８
H28.10.7
船橋夏見特別支援学校
校長　　小室　いづみ

９月３０日（金）　本日は、午前中本校で地域支援のための「自立活動学校見学会」が行われました。同じ学校見学会でも今回は各市町村の福祉施設関係を対象としています。７つの市から１４団体３６名の方が来校されました。本校の自立活動への関心の高さがうかがわれ嬉しい限りです。ただ、校長は最初の挨拶しかできず、その後船橋啓明高校のミニ集会に出かけました。終えて学校に戻ると、やはり午前中から行われていたＡ課程の授業研究の午後の授業を参観しました。

本日の授業研究は、総合教育センターから川西指導主事をお招きしており、終了後の御指導ももらえるので教員も張り切って取り組んでいたようです。参観した授業は「道徳」、パラリンピックの開会式で車いすプロライダーとして脚光を浴びたアーロン氏の人生を振り返りながら、夢をあきらめない心を学んでほしいという内容でした。テレビ番組を上手に編集して良くできた教材でした。教員の願いが込められ色々工夫をした授業でした。反省会も含め、お疲れ様でした。午前の英語の授業が見られず、残念でした。

放課後、船橋特別支援学校の八尋教諭が校長室の表示の似顔絵を私のために作ってくれたものに変えました。これまでは、昨年の飯森校長の似顔絵のままだったので、ホッとして嬉しかったです。ありがとうございます。

＊　＊　＊

１０月４日（火）　ヒマワリは、たくさんの種をつけました。ただ、今年の秋は、雨が多くカリッと乾かずにカビが生えたりして収穫が大変のようです。いつも手入れや、植えつけの準備、除草作業に技能員のお二人が頑張ってくださいます。ありがとうございます。感謝をこめて熱心なお仕事中の写真を撮らせてもらいました。失礼…。

＊

１０月５日（水）　本日は今年県内の小学校に着任した初任教員が違う学校の体験を学びに来ました。初任者研修です。元気いっぱいの若手教員７名を連れて、総合教育センターの川西指導主事が来校しました。各教室に分かれて半日過ごした後、「特別支援教育の温かさ」「個々の生徒を大事に見守る教育」「生徒の実態を的確に捉える教育」を実感したと感想で語ってくれました。

私からは、自分の勤務校で使える事を学びとって欲しいと最初に伝えましたが、どうだったでしょうか？特別支援学校をこれっきりとせずに、５年研修、１０年研修でもまた学びに来て欲しいと思います。特別支援学校にはそれだけ素晴らしい教育活動があります。

＊　＊　＊